

2005年2月入職

な か や そ う す け
中 谷 宗 輔

ご利用者さまの思い（夢）を、共にわかち合う

1泊2日のために、1年半を費やした

「生まれ故郷の九州を、もう一度旅行してみたい」。これは、以前あるご利用者さまが抱いていた夢です。その方は車椅子に乗っていらっしゃったので、旅行出来るまでに症状を改善させることは一筋縄ではいきません。しかし私は、その目標に向かって一緒に歩みはじめました。ご家族にもその方の夢を伝え協力していただき、ついに旅行を実現させることができました。そのときの笑顔は忘れられません。現地で撮影した写真も見せていただいたのですが、本当に楽しそうな表情を浮かべていらっしゃいました。

このように、私はご利用者さまにモチベーションを持っていただくことを心掛けています。内容は何でもかまいません。歩きたいでも、1人で入浴したいでも、家に帰りたいたでも。一人ひとりとコミュニケーションを取りながら、「この方は何にチャレンジすべきか」を探り、目標をクリアすれば、また次の目標を探すというように、段階を追ってステップアップしてもらっています。私は介護士の仕事を、ご利用者さまの杖になることだと捉えています。主役であるご利用者さまを、脇役としてどれだけ支えることが出来るのか。それこそが私の役割だと思っています。



住民の方たちから期待される施設をつくりたい



今後、思いやりエキスパートとして目指していきたいのが、「選ばれる施設」をつくっていくことです。住民の方たちから「何かあったときにお願いしよう」「あそこなら何とかしてくれる」という期待を持たれるような地域密着型の施設でありたい。そのためには、スタッフ一人ひとりの技術の向上と思いやりの心が欠かせません。今後は人材育成により力を入れながら、施設を変革していきたいと思っています。幸いにも、ハートフル瀬谷には透析クリニック

が併設されているという特徴があります。医療と介護の連携は、業界のモデルケースになり得るはず。この場所だからこそそのメリットを活かして、何か新しいことを仕掛けていきたいですね。

笑ってすごす。
一緒に歩む。
中谷 宗輔